

授業づくり規準(外国語科)

P(構想)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (外国語科の内容に関わる授業づくりの力)
学習者の 実態把握	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の発達の段階を踏まえた上で、生活体験や学習経験は学習者によって異なることを意識している。 学習の方法や理解の仕方は学習者によって異なることを意識している。 学習者の性格や学習に対する意欲等を把握している。 学習集団の特質や、個と集団の関わりを把握している。 個々の学習者に対して、指導上配慮すべき事項を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の外国語によるコミュニケーション能力を把握している。 学習者の外国語によるコミュニケーション活動に対する、興味・関心、意欲等を把握している。 学習集団のコミュニケーション活動に対する、興味・関心、意欲等を把握している。
教科内容 に関する 知識・技能	/	<ul style="list-style-type: none"> 外国語科の目標が、外国語によるコミュニケーション能力の育成及び伸長であることを理解している。 外国語によるコミュニケーション能力の育成及び伸長のプロセスを理解している。 外国語によるコミュニケーション能力の育成及び伸長に必要な指導方法を理解している。 外国語によるコミュニケーション能力の育成及び伸長に、より効果的な指導方法を探究しようとする態度・技能をもっている。 コミュニケーション能力の育成及び伸長に有効な学習集団の活用方法を理解している。
目標の 設定	<ul style="list-style-type: none"> 学習は、学習者自身の主体的・探究的な活動によって成立することを理解している。 学校の教育目標や課題を踏まえ、育てたい力を捉えている。 学習を通して学習者の自信を深め、自己肯定感を高めるという意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者が習得すべき外国語によるコミュニケーション能力を把握している。 学習者の外国語によるコミュニケーション能力の習得につながる適切な目標を設定している。
単元計画 (授業計画)	<p>(学習指導案の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導案の重要性や、目標、内容、方法等の指導案の形式の意図を理解し、指導計画を表現している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な到達目標とそのため適切な評価方法を選択・計画している。 自己評価、他者評価等、学習者が学習を改善するための手だてを考えている。 	<p>(単元計画の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の特質、他の単元とのつながり、学習者の実態を踏まえた単元目標を設定している。 設定した単元目標の達成に向け、段階を踏んだ単元計画を作成している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元目標に対して、 <ol style="list-style-type: none"> 学習者が自身の達成状況を確認できる場面を設定している。 指導者が学習者の達成状況を確認する場面を設定している。
授業の 構成	<p>(学習方法・形態の選択・組織)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成するために、学習者の実態を踏まえた適切な学習方法や学習形態を考えている。 新たな知識・技能・学び方等を発見したり、習得したりする喜びを実感できる授業を行うために、学習方法を改良・開発している。 主体的な探究活動や問題解決を考慮して、授業を組み立てている。 学習者が学習内容や学習の過程を振り返るための手だてを考えている。 	<p>(学習内容の構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元計画を踏まえた授業目標を設定している。 設定した授業目標の達成を目指し、外国語によるコミュニケーション活動を核として授業を構成している。 外国語によるコミュニケーション活動の成果を共有する場面を設定している。 <p>(教材・題材の選択・構成・開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業目標の達成に適し、学習者が成功体験を得ることができる外国語によるコミュニケーション活動を設定している。 <p>(板書等の計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーション活動の活性化のために、板書の活用を計画している。 <p>(適切な支援計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者が外国語によるコミュニケーション活動から達成感を得ることができるよう、有効な働き掛けや個への支援を計画している。

授業づくり規準(外国語科)

D(展開)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (外国語科の内容に関わる授業づくりの力)
学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境が、学習者の安全や認知にどのような効果を与えるかを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーション活動が活発に行われるよう学習環境を整えている。 指導者自身が、外国語によるコミュニケーションを積極的に行おうとしている。
学習への構えや学び方の指導	<ul style="list-style-type: none"> 学習者がどのような姿勢で学習に臨めばよいかを明確に示し、学習者に意識させている。 学習過程や自分の考えをまとめていけるようなノートづくりを指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の外国語によるコミュニケーション能力を高めるために、 <ol style="list-style-type: none"> ① 積極的な聞き手・読み手となるよう指導している。 ② 積極的な話し手・書き手となるよう指導している。 学習者が外国語によるコミュニケーション活動を通して、お互いが共に成長することの大切さを意識するよう指導している。
個や集団への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個への対応に具体的な配慮をしている。 集団における学習の大切さや、個の発言の集団への影響を意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーション活動を通して、すべての学習者が成長できるよう配慮している。
音声表現	<ul style="list-style-type: none"> 話し方や表情・所作と学習者の反応との関連を意識している。 場面や目的、環境等に応じて、声の大きさ、話の速さ・緩急・強弱等の話し方や表情を工夫している。 	
指導技術	<p>(言葉遣い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の発達の段階に応じた適切な言葉遣いをしている。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい言葉で、端的に説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的を意識させながら、どんな行動をすべきかを明確に示している。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者が何を問われているか理解できる発問をしている。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見やすさを考慮し、視覚的に構造化するなど、工夫しながら丁寧に板書している。 学習者の様子を観察しながら、板書している。 <p>(演技・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習場面や教材の特性に応じて、適切であると考えられる演技をしている。 待つ時間や「授業のやまば」等を意識して授業を展開している。 	<p>(言語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者が外国語に触れる機会を充実させるために、授業では外国語の使用量を増やし、必要に応じて、より平易な表現に言い換えている。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の主体的で充実した外国語によるコミュニケーション活動を促すため、 <ol style="list-style-type: none"> ① 学習者にとって分かりやすい説明を心掛けている。 ② 説明は必要最小限にとどめている。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の主体的で充実した外国語によるコミュニケーション活動を促すため、 <ol style="list-style-type: none"> ① 学習者にとって分かりやすい指示を心掛けている。 ② 指示は必要最小限にとどめている。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の主体的で充実した外国語によるコミュニケーション活動を促すため、学習者の思考・判断を引き出す発問をしている。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の主体的で充実した外国語によるコミュニケーション活動を促すため、板書を活用している。 <p>(演示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の主体的で充実した外国語によるコミュニケーション活動を促すため、学習者に手本を示している。 <p>(教材・教具の活用、資料提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の主体的で充実した外国語によるコミュニケーション活動を促すため、視聴覚教材を活用している。
学習活動における即時的対応	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の発言や行動を適切に受け止め、達成感、満足感を感じさせている。 学習内容に適した評価法を用意し、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語によるコミュニケーション活動を行う際に、 <ol style="list-style-type: none"> ① 学習者が達成感を得ることができるよう適切に対応している。 ② 学習者がお互いの成長を実感することができるよう適切に対応している。

C・A(評価・改善)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (外国語科の内容に関わる授業づくりの力)
授業の振り返りと分析	<ul style="list-style-type: none"> 「指導と評価の一体化」を意識している。 授業によって、学習者がいかに変容したかについて、絶えず関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の姿や様子から、設定した目標の達成度を検証している。
改善に向けた手だて	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の方法の効果について、意識的・具体的に捉え、指導方法の改善に結び付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 検証結果をもとに、P(構想)とD(展開)を振り返り、よりよい授業づくりに生かしている。